

進捗報告書（実行団体）

事業名: 木地師のふるさと 新型コロナウイルス対策

Version 1.2

資金分配団体: 公益財団法人東近江三方よし基金

日付: 2021年11月24日

実行団体名: 木地師のふるさと高松会

実施時期: 2021年5月～2022年2月

事業対象地域: 滋賀県東近江市

事業対象者: 木地師のふるさとに居住する地域内住民、木地師のふるさとで活動する若者や高齢者、木地師のふるさとで交流する地域外住民

I. 事業概要

事業概要
本事業では、新型コロナウイルス感染症の影響による、当地の「居場所づくりやコミュニティ活動の消失」という「深刻な課題」を解決するため、緊急対策として「古民家の再生と活用による新しい交流体制の確立」を提案する。古民家という「小さな拠点」を整備することで、新型コロナウイルス感染症の影響下でも「人数を限定」した「安心・安全な交流が目指せる」ほか、古民家の再生と活用によって「限界集落地域の社会課題も同時解決」し、地域内住民の「働く場（居場所）づくり」や「安心・安全に暮らせるコミュニティづくり」を確立することで、地域を「未来へ継承するため」の「交流人口・関係人口の獲得」という、本質的な目的をも達成する。

II. 進捗報告の概要

総括
計画通り拠点整備が完了し、10月23日にオープニングイベントを開催できた。今後さらに交流機会を増やすための企画を検討する。

III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
①「木地師のふるさと交流館」を整備する。	古民家の改修が終了し、内部の資料等の展示も終了した。
② 拠点を活用した交流イベント等を実施する。	10月23日オープニングイベントを開催し、周辺自治会関係者・資料製作関係者など、30名程度に拠点を紹介することが出来た。今後も交流イベントを企画検討中。
③ 交流館の「週末開放」と「平日の予約開放」。	11月3日の祭日から拠点をオープンした。

活動	進捗状況	概要
①「古民家の改修」と「木地師のふるさと交流館」の整備	計画通り	古民家の改修と木地師関連の資料作成・展示が無事完了し、関係者を迎えてオープニングイベントが開催できた。古民家を提供してくださった方もお招きし、感謝状をお渡しすることもできた。
② 拠点を活用した交流イベント等を実施する。		11月3日の本格オープン以降、交流イベント等を検討していく。ただ、新型コロナウイルス感染拡大の状況に合わせ、少人数での開催など工夫していきたい。
③ 交流館の「週末の常時開放」と「平日の予約開放」		毎週末は、当団体関係者等で拠点を開け、平日も予約対応できるよう体制を整える。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述	
<p>拠点整備が完了したことから、今後交流イベント等を企画することが可能となった。木地師に関する貴重な資料を展示することが出来たのは、企業のレプリカ制作の技術に出会えたことによるが、その出会いが、レプリカ製作以外の展示物の作成にも協力して頂いたことは想定外の良かった点である。このように、観光客だけではなく、企業などとの交流も、関係人口の増加という地域の活性化につながる大切な要素であると感じている。「安全・安心に交流できる場」として、様々な方々にこの拠点で「ホッと」一息つきながら、長い歴史やこの地域の面白さを伝えていけるよう、しかけていきたい。</p>	

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥0	¥9,050,000	¥9,050,000	¥7,500,000	83%
	管理的経費	¥0	¥0	¥0	¥0	#DIV/0!
合計		¥0	¥9,050,000	¥9,050,000	¥7,500,000	83%
補足説明						

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
特になし

VII. その他

自由記述
<p>今回のご縁をきっかけに、拠点の近くに自動販売機（東近江三方よし基金への寄付付き）を設置することが出来た。一番近い店まで車で10分～15分ほどかかっていたので、飲み物がすぐに購入できることとなったのはありがたい。</p>

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	無	東近江市役所から、プレス宛に拠点整備が紹介された。
広報制作物等	無	
報告書等	無	

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	いいえ	現在規程を整備中